

令和5年度
若葉台地区自治会だより
第1号 2023. 8. 10

持続可能なまちづくり

若葉台地区自治会 会長 亀井 良博

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より若葉台地区自治会の運営、行事等にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

当地区も急速に少子高齢化が進んでいますが、自治会では皆さんと一緒に「住み慣れた地域で最期まで暮らせるまち、誰もが暮らしたくなるまち」「楽しく生きがいのあるまち」となりますようにSDGs、多様性、地域共生社会を重んじ、地域が運命共同体として繁栄し活性化するよう頑張っております。

なにとぞ、よろしくお願いたします。

「若葉台地区ふるさと祭り」4年ぶりに開催！

○日時：8月26日（土）16：00～20：00

○会場：若葉台地区公民館駐車場、若葉台体育館駐車場

オープニングは、鳥取環境大学の和太鼓演奏、わかば台こども園、若葉台連による傘踊り！お楽しみ抽選会、手品、バンド演奏など催し物が盛りだくさん！

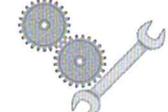
焼きそば、サイコロステーキ、たこ焼き、お好み焼き、かき氷、生ビールなどの出店があります！

8月26日はふるさと祭りにGO！！

～鳥取市より若葉台の皆様へのお知らせ～
初期費用ゼロで太陽光発電システムを設置する事業がスタート

若葉台地区の皆様には、これまでアンケート調査などにご協力いただき、誠にありがとうございました。このたび鳥取市は環境省「脱炭素先行地域」に選定され、若葉台地区で、戸建住宅を対象に初期費用ゼロで太陽光発電設備等を設置し、発電した電気をご自宅に使っていただく事業をスタートします。サービスやご利用の流れなど詳しくはQRコードをご覧ください。

0円ソーラー設置の5つの特徴

1 初期費用設置無料 	2 メンテナンスもおまかせ 	3 毎月の電気代がお得 
4 地域のグリーン化に貢献 	5 災害時にも使用可能 	



設置費用が
0円！

お知らせ

◆「鳥取市脱炭素先行地域キックオフセミナー」◆

日時：8月26日（土）10時～11時40分

場所：公立鳥取環境大学 100講義室

演題：「デンマークが見据える化石燃料を一切使わない社会」

講師：高橋 叶さん（デンマーク王国大使館エネルギー担当官）

◆8/26（土）若葉台地区ふるさと祭りにブースを出展予定◆

【お問い合わせ先】

●PPAサービスに関すること：PPA事業代表事業者（株）とっとり市民電力 TEL 30-6006

●脱炭素先行地域に関すること：鳥取市役所
スマートエネルギータウン推進室 TEL 30-8288

大雨の教訓

今年の7月13日に、鳥取市内でこれまでに経験したことのない大雨による浸水被害が発生しました。

この度の豪雨では若葉台地区には大きな被害は出ませんでしたでしたが、同様の災害は、いつ、どこで発生しても、おかしくないということを再認識し、日ごろからの備えを行っておくことが大切です。地区だよりでは、令和4年度から「流域治水」という取り組みについて連載しています。

これからの台風シーズンに備え、地域や各家庭でできる取り組みを考えてみましょう！



7/13 国道53号浸水状況
(旧鳥取市役所前)

【鳥取県河川課より】
(担当：水防担当 26-7386)
雨水の貯留対策について

7月の大雨では、地域内に降った雨が水路などの排水能力を超え溢れる「内水(ないすい)氾濫」による浸水被害が鳥取市内複数個所で発生しました。国府町宮ノ下の住宅地では、地区内の水路が溢れ道路が冠水するなどの影響が出ました。

地区だより令和4年度第2号で、流域治水での取組として、流域内での貯留が注目されているとお伝えしました。雨水貯留は、下流側の地域や河川だ

けに効果があるのではなく、このような地区内の水害を軽減する効果も期待されます。

気候変動により豪雨災害が頻発化・激甚化していくことへの対策を、今のうちから地域として取り組んでみてはいかがでしょうか。



7/13 鳥取市国府町宮ノ下地内の水路氾濫

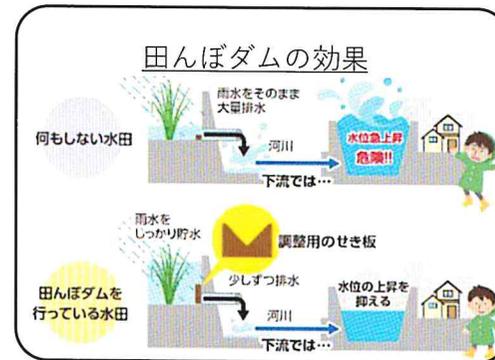
大路川流域での貯留対策の必要性

現在、若葉台地区も含まれている大路川流域では、数年に1度の頻度で下流域での浸水被害が発生しています。

被害軽減のためには、大雨時に水が一気に下流域に集まらないようにする対策が必要です。

そのため、大路川流域では浸水被害軽減のために必要な、流域内での貯留対策について理解が深まり、取組みが進んでいくよう、田んぼダムのモデルほ場(農業試験場)や、雨水貯留タンクのモデル箇所での設置(県東部総合事務所、美保南地区公民館)などを行っているところです。

モデル箇所の状況のお問合せや、その他の貯留対策等について、興味を持たれた場合は、県庁河川課までご連絡ください。



これらの取組の他、他県では、雨庭(あめにわ)と呼ばれる庭等を活用した貯留・浸透対策により、雨水が水路や川にすぐに流れていかないようにする対策を行っているところもあります。

治水対策として、どのような取り組みができるか、地域の皆様の意見を伺いながら、進めていきたいと考えています。

【編集後記】

梅雨明けとともに猛暑襲来。日中は何もする気がおこらないほどギラギラ太陽が照りつけています。対抗すると余計な体力も使うし、ストレスにもなる。上手にお付き合い。リスク管理は怠りなく。お身体を大切に。

「自治会だより」が届くころには過ごしやすい天候になっておりますように。(キ)